

令和５年度 第１回 長野市学校給食センター等運営審議会 議事概要

期 日：令和５年６月29日（月）

開会時刻：午前10時

閉会時刻：午後零時20分

会 場：長野市第四学校給食センター（大字村山）

出席者：委員14名（欠席者７名）、事務局23名

施設見学

１ 開 会

２ 挨拶

３ 自己紹介

４ 審議会の位置付けについて

５ 会長の選出

- ・委員の互選により、清水委員を会長に選出
- ・清水会長の指名により竹内委員を職務代理者に選出

６ 会長挨拶

７ 諮 問

８ 会議事項

【報告事項】

- (1) 長野市学校給食の概要について
- (2) 長野市第二学校給食センターの概要と食に関する指導について
- (3) 学校給食センターでのアレルギー対応食の提供について

【報告事項質疑応答：なし】

【審議事項】

- (1) 令和５年度学校給食費の１食単価について

【審議事項質疑応答】

委 員： 市が算出した給食費と現行の給食費の差額の27円について、今年度既に12円市が補助しているが、差額の15円は保護者に負担を求めるのか。

事務局： 今年度の給食費については、昨年度３月の運営審議会において据え置きとの答申をいただいているため、今年度中に改定を行い、新たな保護者負担を求めることは考えていない。すでに行っている補助と同様に、更なる不足分について市が負担できるか、財政部と協議したい。

委 員： 27円の負担は、保護者にとって重いものになる。すでに12円分は市で補助していただいているが、残りの15円についても、是非市の施策として実施していただきたい。

委員：今年度、市の補助が見込めるということはあるが、来年度の給食費改定はやむを得ないのではないか。

今回の審議会参加に当たり、身近な保護者に話を聞いてみたが、給食費がいくらなのか知らない保護者もいた。現在の補助・これから行う予定の補助についても広くお知らせしたほうが良いのではないか。

委員：給食費に対して補助があることも多くの保護者は知らない。現行の給食費では食材費を払いきれないということも含めて、児童・生徒、保護者に対してお知らせしてはいかがか。児童・生徒の経済の勉強にもなるし、給食をより大切に考えることにつながるのではないか。

事務局：年度当初の食育だよりにより保護者には周知したが、まだまだ足りないということを実感した。今回いただく答申の内容等も含め、学校、児童・生徒、保護者に対し広く周知していく。

委員：アレルギー対応食の提供を受ける場合、給食費は変わるのか。

事務局：変わらない。

委員：資料から、牛乳の単価が高いことがわかる。牛乳以外の食品で、カルシウムを摂取することはできないのか。アレルギーの関係で牛乳が飲めない子、牛乳を飲むとおなかがゴロゴロしてしまう子が一定数いる中で、毎日の提供を見直していただきたい。

事務局：牛乳以外の食品で牛乳と同等量のカルシウムを補おうとすると、牛乳より多くの量を摂取することが必要になり、これに伴って食材費も高額になってしまう。牛乳はカルシウムが豊富なだけでなく、吸収率も高いために、可能であれば毎日摂取していただきたいと考える。

・会長により、「給食費の1食単価は事務局が示した金額が適切である。しかしながら、当面の間は、保護者負担を求めることなく市の施策による補助を行うこと。また、食材費が高騰する場合であっても、喫食量や栄養素が不足することのないよう工夫することを求める。」との取りまとめがなされ、委員の同意を得た。答申の文案については、会長に一任された。

9 その他

10 給食試食

11 閉 会